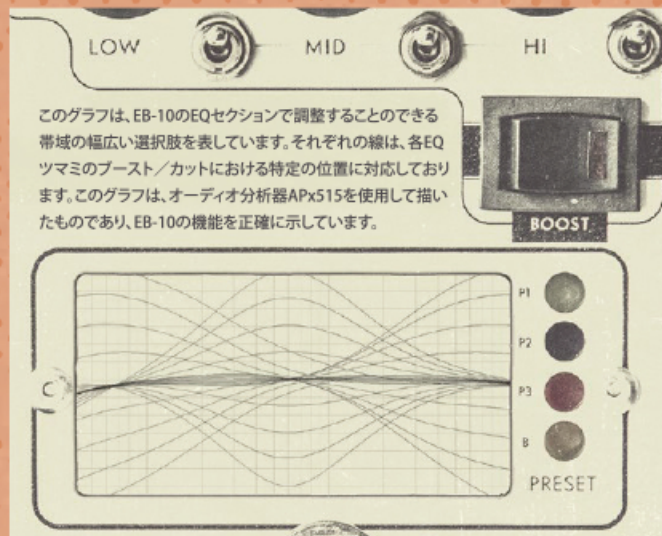




WALRUS AUDIO
EB-10
EQ // BOOST UTILITY

CONTROL LAYOUT

EB-10は、理想の音を追い続ける人にとって最高のペダルです。プリアンプ/EQ/ブースターとして機能し、ライブのセッティングでもスタジオの音質が再現できるほど細かいセッティングが可能です。それぞれのツマミでは、トグルスイッチの位置ごとに各帯域最大12dBのブースト/カットが出来ます。また、ブーストスイッチをオンにすると10dBのMOSFETブーストが音に更なるパンチを加えます。



*Walrus Audioエフェクターの電源は、アイソレーテッドパワーサプライの仕様を推奨します。デジチェーン式のパワーサプライは推奨致しません。

取扱説明書

●安全にご使用いただくために

この度はWALRUS AUDIO製品をお買い上げいただきありがとうございました。

- ・使用開始前に、安全ため下記の説明をよくお読みください。
- ・お読みになった後は、必ず保存しておいて下さい。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、下記の指示を必ず守ってください。

⚠ 警告: 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠ 注意: 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

⚠ 警告

1. 火災または感電の危険を避けるため分解したり修理、改造は行わないでください。
2. 火災または感電の危険を避けるため本機器を雨や湿気にさらさないでください。

⚠ 注意

1. この取扱説明書をよくお読みください。
2. この取扱説明書で説明されている範囲を超えた保守点検作業を行わないでください。
3. 本機器を暖房器具や電熱器などの熱を発生する機器の近くに置かないでください。
4. 本機器に異物や液体が入らないようにしてください。
5. 本機器の清掃には、金属部分の先端部などでけがをしないよう注意して、乾いた布のみを使用してください。
6. 火器の近くを避け、安定した場所に保管してください。天災による事故、火災の原因となったり、地震の際に落下してけがの原因になることがあります。
7. 発火や感電の危険を避けるため本危機を濡れた手で、水の近くで使用しないでください。

CONTROL BREAKDOWN

EB-10 EQ: イコライザーは、幅広い調整ができます。各ツマミには、ブースト/カットを設定する4つの調節位置があります。ブースト/カットの選択は、ツマミと連動しているトルグスイッチによって行います。よって、帯域ごとに9つの選択肢があることになります。細かい音作りを行えるようにするため、ツマミの各位置は、正確に3dBずつ調節できるように設計されています。

LOW: 低域は、LOWのツマミとトルグによって調節できます。信号の低域を調整するには、LOWトルグスイッチの選択から始めてください。上がブーストで下がカットです。その後、ツマミを動かして好きな量のブースト/カットを行ってください。低域のブーストにより、シングルコイルのようなピックアップには存在感が増します。低域のカットはハムバッカーのようなピックアップに明瞭さを与えます。

MID: 中域は、完全にパラメトリック仕様となっています。MIDのツマミとトルグだけではなく、内部の3つのトリムポットによって、調整されます。ノブとトルグは、中域のブースト/カットの量をコントロールします。一方内部のトリムポットは、中心の周波数とフィルターの帯域幅を調節するためにあります。信号の中域を調整するには、MIDトルグスイッチの選択から始めてください。上がブーストで下がカットです。その後、ツマミを動かして好きな量のブースト/カットを行ってください。中域のカットは、「ハイファイ」なサウンドを作ります。中域のブーストは、ミックスの中でも際立つ周波数を強調出来ます。EB-10の初期出荷状態では、800Hzの中心帯域、約1.5のQ(幅の広さ)にトリムポットが設定されています。詳しくは「トリムポットの調整方法」をご覧ください。

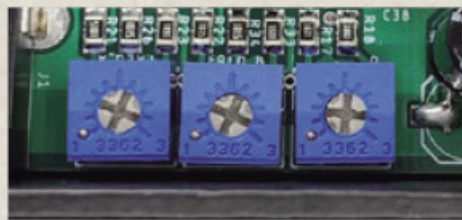
HI: 高域は、HIのツマミとトルグによって調節できます。信号の高域を調整するには、HIトルグスイッチの選択から始めてください。上がブーストで下がカットです。その後、ツマミを動かして好きな量のブースト/カットを行ってください。高域のブーストは暗い音色のギターに輝きをもたらし、高域のカットは粗いピックアップを落ち着けます。

ブーストスイッチ: ブーストスイッチは10dBのMOSFETブーストを始動させます。オンの時、スイッチのLEDと「B」のLEDが点灯します。他の機材の設定をあまり変更せずに高出力と低出力のギターを持ち替えたい場合、このスイッチは役立ちます。また、ミックスの中でソロを際立たせ、音に若干の色を加えたい場合もこのスイッチは最適です。

操作モード: EB-10は「Live」と「Preset」の二つのモードがあります。Liveモードでは、ペダル上の全てのツマミやスイッチの位置がそのまま音に反映されます。ツマミで音を作って、バイパススイッチでエフェクターのオン/オフを決定します。Presetモードでは、設定を保存できるスロットが3つあります。Presetモードの際、ペダルの設定は固定され、バイパススイッチを押すことでプリセット間を移動できます。最後に使用していた操作モードの状態で、EB-10は起動されます。それがPresetモードの場合、デフォルトでプリセット1が読み込まれます。

トリムポットの調整方法

裏蓋を外すと、中域の設定を調節するためのトリムポットが現れます。



ポット1とポット2では、MIDコントロールの中心の周波数を設定できますが必ず同じ位置に設定しなければなりません。ポット3は中域フィルターの帯域幅(Q)を設定できます。

PRESET AND LIVE MODE

BYPASS SWITCH

Liveモード: エフェクトのオン/オフを切り替えます。

Presetモード: ユーザーによって保存された3つのプリセット間を移動できます。

PresetモードとLiveモードの切り替え:

バイパススイッチを3秒間長押しすると、モードが切り替わります。プリセットのLEDを見ることで、現在どちらのモードが採用されているのか判断できます。プリセットLEDが点灯している場合Presetモードが選択されています。消灯している場合はLiveモードが選択されています。

プリセットの保存

1. EB-10がPresetモードになっていることを確認してください。
2. 上書きしたいプリセットのスロットを選択します。
3. ツマミを調整して、保存したい音のセッティングを決定します。
4. 3つのLEDが点灯するまで、バイパススイッチを長押しする。(約1秒)
5. 以上の手順で、特定のスロットに任意のセッティングを保存できます。